



解説します

暮らしやすい 未来都市 茅野



暮らしやすい未来都市・茅野

「暮らしやすい未来都市・茅野」とは、生活サービスが充実し、子どもからお年寄りまで全ての市民が暮らしやすさを実感できるまちが2030年頃の実現に向けて茅野市が目指す未来の姿です。

人口減少・少子高齢化対策

茅野市は、人口減少と少子高齢化を克服するために「第2次茅野地域創生総合戦略」を策定しました。この計画は、地域の担い手となる若者の移住・定住を促すために、魅力ある仕事の創出や子育て環境の整備を進めて、地域の活性化を図るものです。この計画を進めることで、人口減少・少子高齢化に歯止めをかけ、子どもからお年寄りまで全ての市民が暮らしやすいまちとなることを目指しています。

先端技術を活用した

生活サービスの充実

暮らしやすいまちとなるためには、若者の増加だけではなく、市民の皆さんが健康に安心して生活するための医療・福祉・環境や、

公共交通等の生活サービスが充実していることも重要です。

このために、※Aや※IoTなどの先端技術を積極的に活用していきます。

現在、市内で新たな地域公共交通の仕組みであるA・オンデマンド乗合タクシー「のらびあ」の実証運行を行っています。これは行きたい時に行きたい場所へ行けるようにAが乗合タクシーを配置する仕組みです。この他にも、市民の皆さんが暮らしやすさを実感できるような取り組みを進めていきます。

※A…人工知能。人間の知的能力をコンピュータ上で実現するさまざまな技術やソフトウェア、コンピュータシステム。

※IoT…Internet of Thingsの略。物がネットワークを通じて相互に情報交換する仕組み。

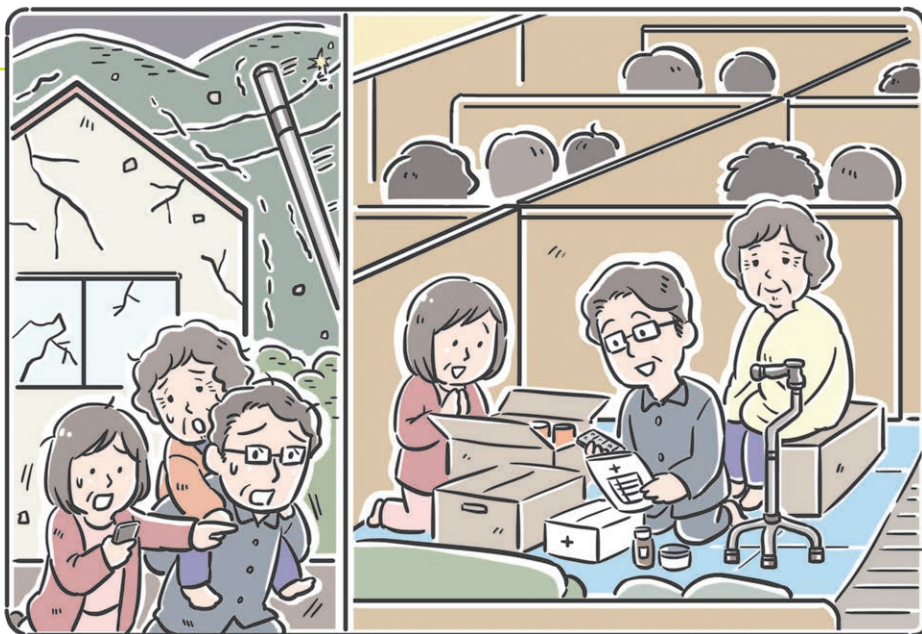
次ページで

「暮らしやすい未来都市・茅野」で目指すまちの姿を紹介します



3 防災 災害時も安全をサポート

これまでは、大きな災害が起きた場合、無事に避難しても誰がどこに避難しているかの確認に時間を要していました。また、慌てて避難した場合には薬や介護用品などを家に置いてきてしまうこともあります。「未来都市・茅野」では、スマートフォンに登録した情報によって、直近の避難所までを誘導してくれるだけでなく、必要な薬や介護用品を避難所に届けてもらうことができるので、安全な避難と避難所生活の不安を減らすことができます。



茅野市が目指す「暮らしやすい未来都市・茅野」は、車が空を飛ぶSF映画のようなまちではありません。これまで茅野市が大切にしてきた人と人とのつながりを基盤に、AIやIoTといった先端技術によって不足する人の力を補うことで、皆さんが暮らしやすさを実感できるまちを目指していきます。

「暮らしやすい未来都市・茅野」の実現には市の力だけでなく、国や県のサポートを受けながら進めていくための手段の1つとして、4月に国の新たな国家戦略特区である「スーパーシティ構想」へ応募しました。

市民の皆さんと共に、一步一步、着実に取り組みを進めていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

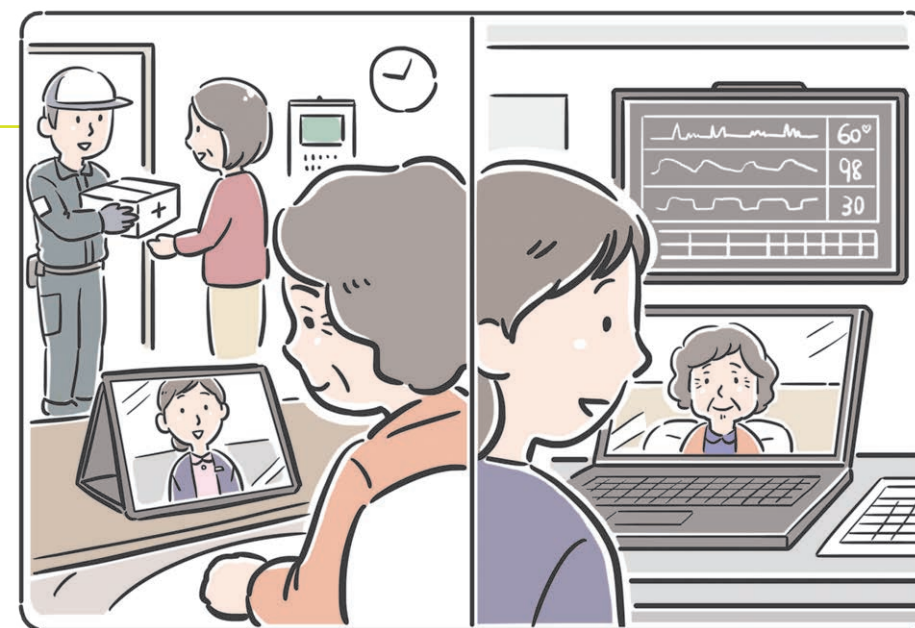
問 企画課 企画係 ☎72-2101 (内線 152)

これから目指す 暮らしやすい未来都市・茅野

市民の健康を守り、誰もが生きがいをもって、幸せに暮らせるまちに
「暮らしやすい未来都市・茅野」で茅野市が目指すまちの姿を紹介します。

1 遠隔見守り 自分も周りも安心

これまでは、病院に行かなければお医者さんに診察してもらうことができませんでした。「未来都市・茅野」では、看護師さんが日々の健康状態をインターネットを通じて常に見守ってくれます。必要なときには、看護師さんたちが遠隔で診てくれて、救急車を手配してくれます。



公共交通

行きたいときに 行きたい場所へ

2

これまで病院に行くときは、自家用車を運転するかバスの時間に合わせる必要がありました。「未来都市・茅野」では、スマートフォンの「のらざあ」アプリで予約をすると、AIが近くの車両を手配して最短ルートを選び、病院に連れて行ってくれるので、運転の必要がなく時間を効率的に使うことができます。また、アプリで支払いまで済ませることができます。

